



平成 27 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 L I X I L グループ
代表者名 代表執行役社長 藤森 義明
(コード番号 5938 東証・名証各一部)
問合せ先 執行役副社長 IR 担当 筒井 高志
(電話 03-6268-8806)

平成 27 年 3 月期事業概況の発表のお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 1 日付「平成 27 年 3 月期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせ致しましたとおり、当社の連結子会社である Joyou AG (本社：ドイツ、フランクフルト証券取引所上場、以下、Joyou) において、監査人及び法律顧問による特別監査を実施中であり、当該手続が未だ完了していないことから、本日予定しておりました決算発表を延期いたしました。株主、投資家及びその他ステークホルダーの皆様へ、現時点で提供可能な当社の財務情報をご理解いただくため、平成 27 年 3 月期の事業概況を別添資料の通り開示します。

また、本件に関して、平成 27 年 5 月 3 日 (ドイツ時間) に、Joyou が下記の内容 (日本語訳) を公表しております。

「Joyou の子会社において現在実施中の監査によれば、売上、負債及び利用可能な現金の額が、2014 年の財務報告において Joyou により報告された各金額から、大きく乖離しているとの暫定的な結果が示されました。このような乖離により、Joyou の 2014 年の財務報告における同社の純資産、財政状態及び利益の状況が過度に良く見せられていた可能性があります。乖離の程度については特別監査の過程で監査人と法律顧問が現在調査中であります。」

Joyou は、フランクフルト証券取引所における上場会社であり、現地の規制に従い適宜のタイミングにおいて特別監査の状況を公表しており、当社の適時開示の観点から、同社の公表内容を、当社としても開示しております。当社は Joyou とは別個の当社自らによる調査を行っておりますが、現時点では当社として Joyou の特別監査について検証を終えているものではありません。また、上記のとおり、Joyou 自身が上場会社であるため、当社独自の判断により、同社における特別監査の状況を現時点で公表することは控えさせていただきます。

本件の当社の平成 27 年 3 月期決算への影響につきましては、現在精査中ですが、Joyou は、昨年 1 月 21 日から本年 3 月 31 日まで、当社の持分法適用関連会社であり (本年 4 月 1 日より連結子会社)、同時期に当社の持分法適用関連会社であった GROHE Group S.à r.l. (以下、GROHE) を通じて Joyou 株式を間接的に所有しており、Joyou に対する当社の持分は 31.62% (GROHE の Joyou 持分 72.28% × 当社の GROHE 持分 43.75%) でした。Joyou の損益は、この持分割合分が、当社の日本基準の連結損益計算書上、営業外損益の持分法による投資損益の項目に連結されています。

平成 27 年 3 月期の第 3 四半期 (当社における平成 26 年 4 月 - 12 月、Joyou における 2014 年 1 月 - 9 月) に当社の連結営業外損益に計上した Joyou 分の持分法による投資利益は 9 億円であり、当初は、通期 (当社における平成 26 年 4 月 - 平成 27 年 3 月、Joyou における 2014 年 1 月 - 12 月) において同じく 12 億円の利益計

上を見込んでおりました。しかし、今回の特別監査の結果を受けて、Joyou の財務諸表を修正する必要が生じた場合、上記の持分法による投資損益を修正するとともに、GROHE 買収時における Joyou の貸借対照表が修正されることにより、当社の平成 26 年 3 月期の連結財務諸表に影響が及ぶ可能性があります。なお、Joyou 分ののれん等（買収時の総額は 315 億円、内のれん 17 億円、無形資産 270 億円、その他有形資産・在庫 28 億円）の当社持分（31.62%相当）は、約 100 億円であります。ただし、特別監査の結果によっては、当社連結財務諸表への影響は、上記当社持分に限定されるものではありません。

現在、決算に関しては、各社の監査人との間で連絡を取り合いながら、6 月中に予定されている当社の定時株主総会の開催には支障ないように本件の調査及び監査を進めております。

なお、別添の平成 27 年 3 月期の事業概況は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、Joyou に関する情報は含まれておりません。平成 27 年 3 月期の業績及び平成 28 年 3 月期の見通しに関する情報については、延期後の決算発表日において公表される平成 27 年 3 月期決算短信をご覧ください。決算発表日については、決定次第、速やかに公表する予定であります。

株主、投資家ほか関係各位の皆様に対して、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

以上

証券コード: 5938

LIXIL
Link to Good Living

2015年3月期 事業概況 (2014年4月－2015年3月)

2015年5月7日

株式会社 LIXILグループ

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

アジェンダ

LIXIL

- **まず始めに...**
- **2015年3月期 事業成績の概要（予測値）**
- **新体制における2016年3月期の見通し
(Joyou AGを除く)**
- **主要戦略 進捗状況**
- **トピックス**
- **ご参考（Appendix）**

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

まず始めに...

- 2015年3月期まで当社グループに持分法連結されていたGROHEを通じて間接的に所有するJOYOU AG(以下JOYOU)において、2015年4月27日にお知らせしました通り、同社の純資産・財政状態及び利益の状況について、特別監査を行っております。
なお、2015年3月期において、当社グループの同社に対する持分は31.62%(72.28% \times 43.75%)でありました。
このため、日本基準では営業外損益の項目に持分法投資損益として連結されています。
- 当社グループとしても、上記特別監査とは独立した調査を行っておりますが、現時点では調査の途上であります。
また、JOYOUはフランクフルト証券取引所に上場されており、27.72%の少数株主も存在するため、当社グループ独自の判断により調査内容を発表することはインサイダー取引を惹起することから、調査内容および影響額についての説明は控えさせていただきます。
- 6月に予定されている当社グループの株主総会開催には支障なきよう、各社の監査人と連絡を取りながら、調査・法定監査を進めております。

- ご参考までに、2015年3月期の第3四半期(2014年4月-12月)に当社グループの営業外損益に計上したJOYOU分の持分法投資損益(2014年1月-9月)は9億円の利益であります。
- また、通期(2014年1月-12月)では、12億円の利益計上を見込んでおりました。
- 今回の特別監査の結果をうけて、JOYOUの財務諸表を修正する場合、上記持分法投資損益の他に、買収時におけるJOYOUのBS訂正により、当社グループの2014年3月期(2期前)の連結財務諸表に影響がおよぶ可能性があります。
- なお、JOYOUののれん等(買収時の総額は315億円、内のれん17億円、無形資産270億円、他有形資産・在庫28億円)の当社グループの持分(31.62%相当)は約100億円であります。
- ただし、特別監査の結果によっては上記当社グループの持分に限定されるものではありません。

**株主・投資家および関係各位の皆様に対しては、
多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしておりますこと
を、ここに深くお詫び申し上げます。**

2015年3月期 事業成績の概要 (予測値)

尚、当資料にはJoyou AGに係る部分の記載は全て除いております。

※2015年3月期の国際会計基準(IFRS)ベースの実績は速報ベースのため、変更になる可能性があります。

2015年3月期 事業概要（予測値）

単位:億円

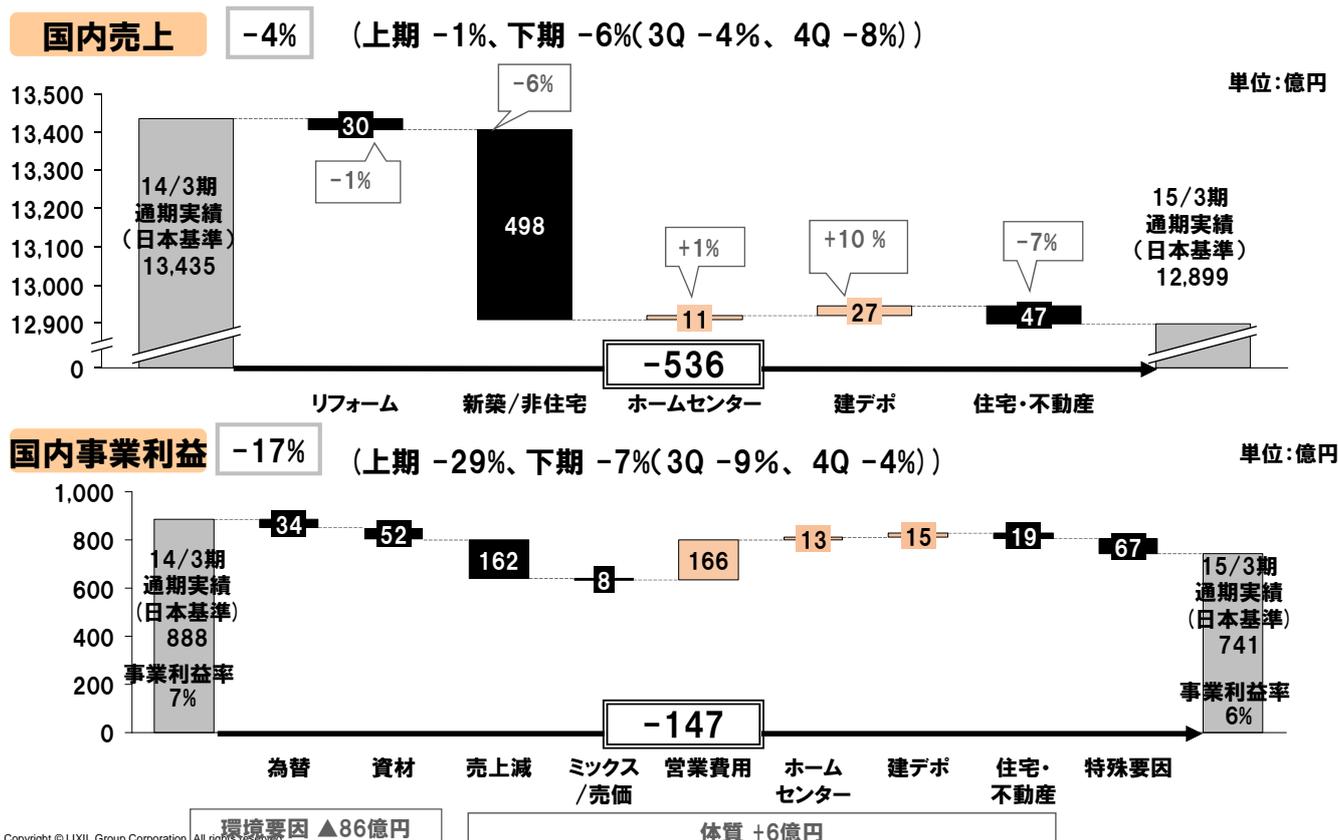
	14/3期 実績 (日本基準)	15/3期 実績 (日本基準)	前年比		15/3期 実績 (IFRS)	日本基準vs IFRS 増減
			増減	%		
売上高	16,287	16,734	447	2.7%	17,101	367
事業利益*	691	517	-174	-25.2%	534	17
事業利益率	4.2%	3.1%	-	-1.2P	3.1%	-

* 日本基準では従来の「営業利益」、IFRS基準では「売上-売上原価-販管費」(特損益など一時費用を除いた利益)

(ご参考) 為替差益(営業外) 14/3期 48億円、15/3期 112億円(前年比+64億)
特別損益 14/3期 -20億円、15/3期 42億円(前年比+62億)

15/3期においてJoyou AGは持分法適用関連会社であるため、同社の2014年12月期当期純利益はLIXILグループの持分法投資損益(営業外)に影響があります。

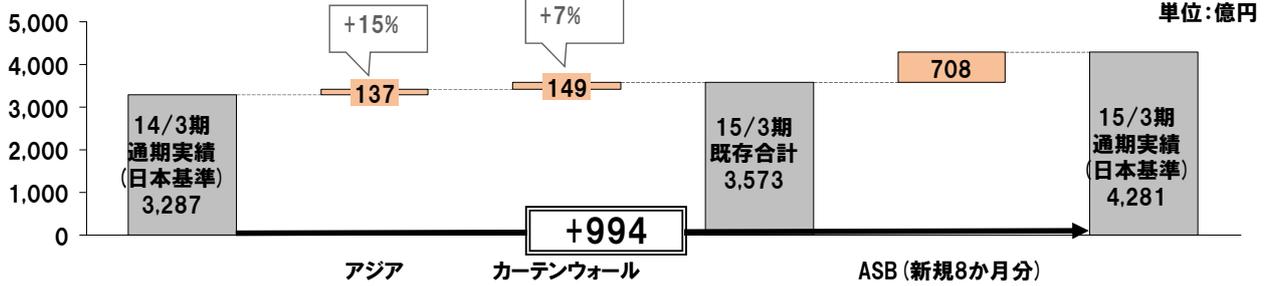
消費税増税とインフレ影響大



アジアが牽引、ペルマ・ASBは回復へ

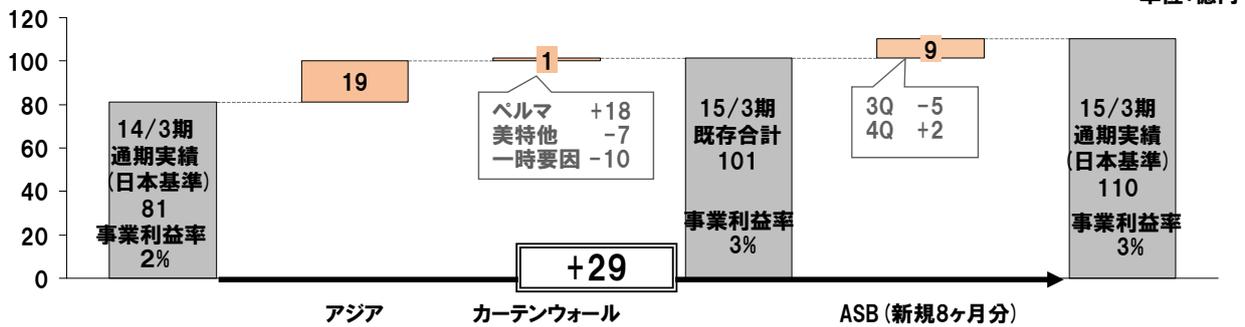
海外売上

+30% (既存 +9%)



海外事業利益

(連結無形資産償却除く)



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

フリーキャッシュフローは前年比1,450億円増

バランスシート最適化

15/3期の達成 : 990億円

- 債権の流動化 780億円
- 資産の売却・証券化 60億
- 有価証券売却 150億円

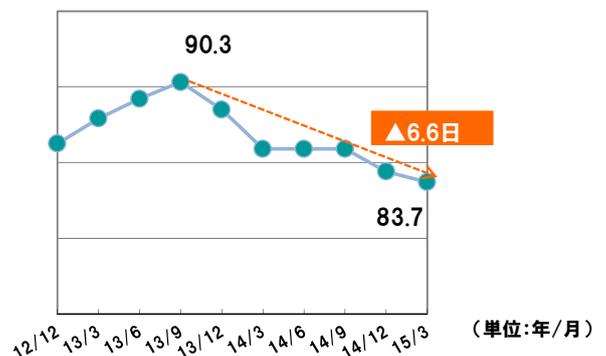
➡ 引き続き16/3期もBS最適化 継続

CCC (オペレーション効率化)

目標

1,000億円
16年3月期末まで

(単位: 日) CCCの進捗と目標



17/3期の目標 : 55日

※活動ベース、日本基準

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

新体制における2016年3月期の見通し (Joyou AGを除く)

真のグローバル組織としての成長

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

成功への三本の柱



世界中のマーケットを率いるブランド



LIXIL Water Technology



衛生陶器 国内 No.2
ユニットバス 国内 No.1



水栓金具 グローバル No.1



衛生陶器北米 No.1



LIXIL Housing Technology



窓サッシ 国内 No.1
エクステリア 国内 No.1
玄関ドア 国内 No.1



LIXIL Building Technology



カーテンウォール グローバル No.1



LIXIL Kitchen Technology



キッチン 国内 No.1



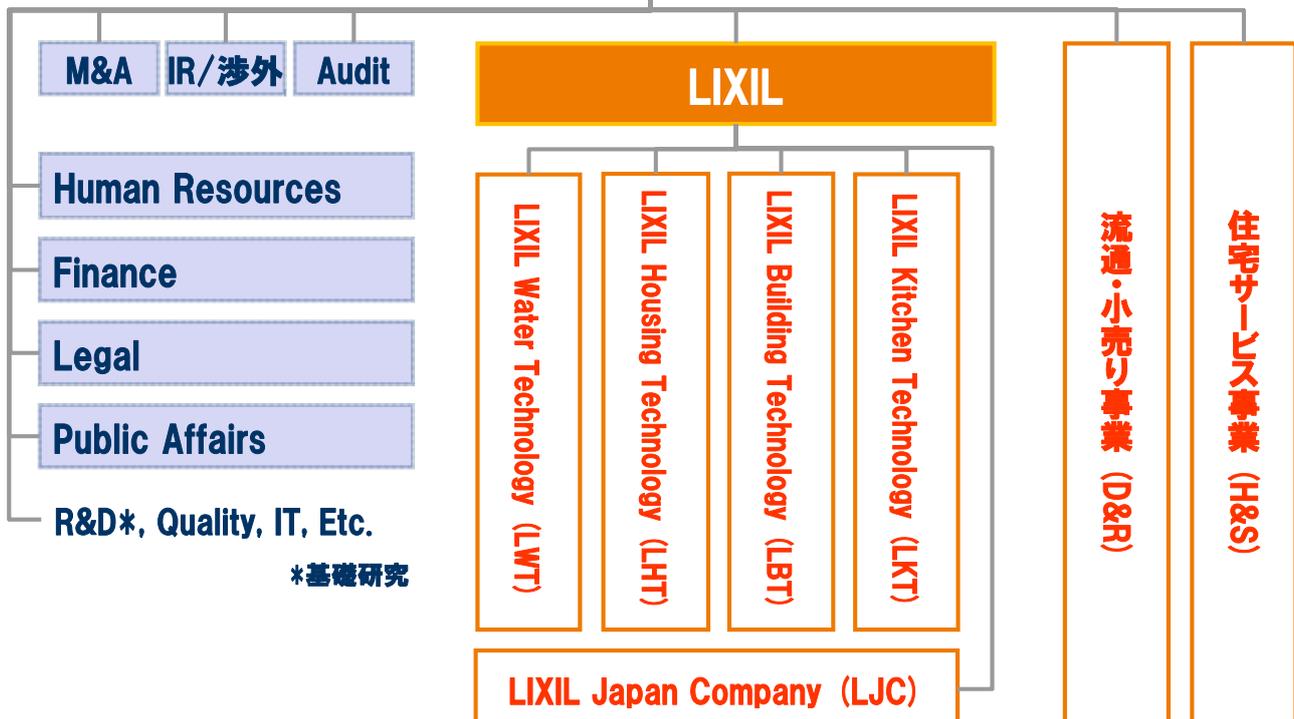
Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

12

2015年4月1日以降 新体制へ移行



LIXIL Group



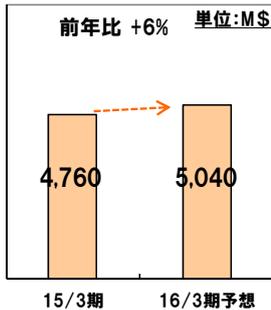
Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

13

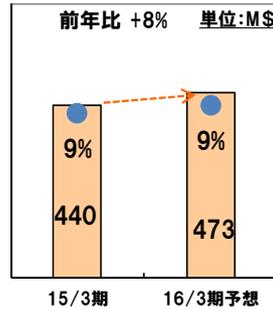
Water Technologyの新たなグローバルリーダー



売上



事業利益



※マネジメントノーマライズドベース ● : 利益率

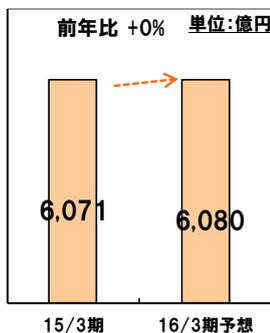
Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

- ✓ 巨大な成長市場
- ✓ グローバルマーケットリーダー
- ✓ 主要地域における先駆者
- ✓ マルチブランドの展開
- ✓ イノベーションリーダー
- ✓ コストシナジーを最大化するためのプラットフォーム戦略

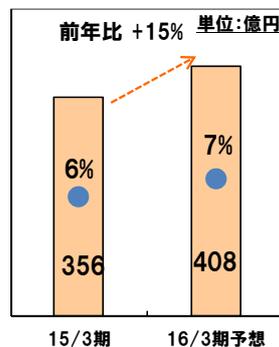


蓄積されたブランド力とテクノロジーを持つ日本の長年にわたる先駆者

売上



事業利益



※マネジメントノーマライズドベース ● : 利益率

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

- ✓ SCMの最適化や最新の工場自動化システムの導入により、国内の利益体質改善のための体質改革
- ✓ 市場の需要を満たすトップランナー基準を満たす製品投入の継続
- ✓ 国内リフォーム需要や海外展開の加速により国内新築依存からの脱却

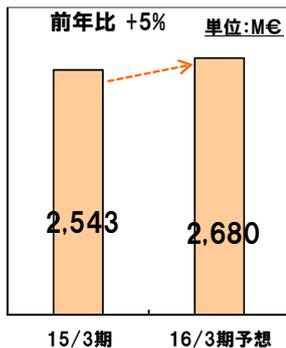


LIXIL Building Technology – LBT

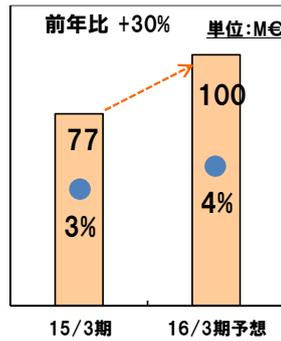
世界中の都市景観を築いてきた15年にわたるグローバルリーダー



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

- ✓ LBTのグローバル事業をペルマに集約し、利益率を改善
- ✓ 東京オリンピックの特需を捕える
- ✓ 新規プロジェクトやマーケットの選定
- ✓ プロジェクト利益率統制は今の受注残粗利にも反映

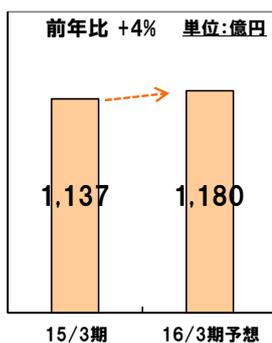


LIXIL Kitchen Technology – LKT

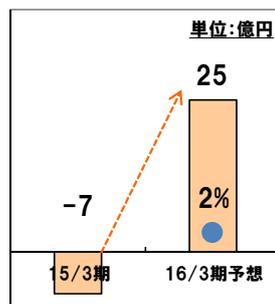
シェアおよび収益性のV字回復



売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

- ✓ 人工大理石やステンレスの他、セラミックを天板に使用した新商品を続々投入。中高級品市場の強化
- ✓ 現地のパートナーのハイアールと共に中国のビジネスの拡大



流通・小売り事業 — D&R

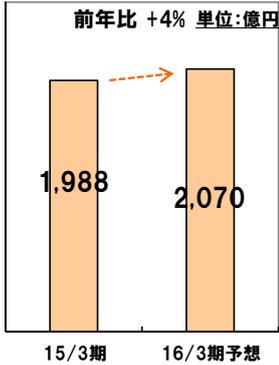
11年（～16/3期予想）連続増収 過去最高益更新



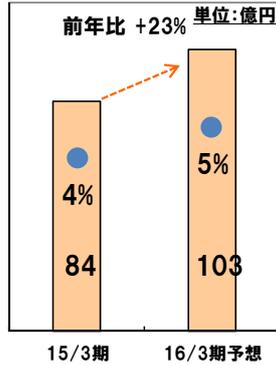
- ✓ 成長戦略による売上拡大と構造改革による効率化で増収増益を継続し、高収益体質を確立



売上

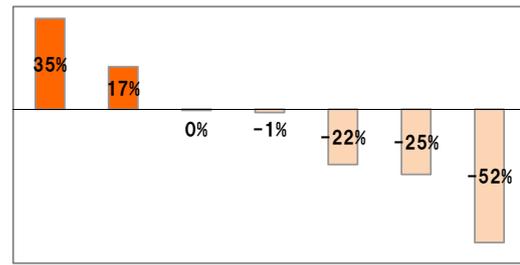


事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率

15/3期のホームセンターの
前年比 事業利益成長率 比較 (対競合)



ビバホーム LIXIL VIVA (3月～2(4月～3月) 月) *年度: 3月～2月, **年度: 4月～3月 18

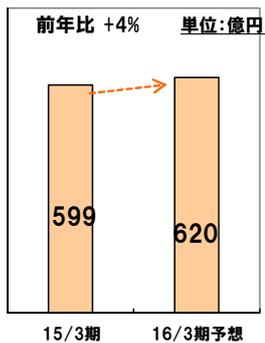
住宅サービス事業 — H&S

日本最強レベルの住宅・サービス事業ネットワーク

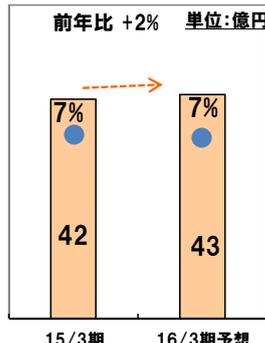


- ✓ LIXILグループの総合力と新サービスにより、住まいと暮らしの価値を高めるソリューション&サービスビジネスを戦略的に展開
- ✓ 各事業のプラットフォーム機能&金融サービス事業開始
- ✓ ストック領域ビジネス・・・住宅検査・評価・維持管理、住み替え対応ビジネス
- ✓ 高齢化社会の住生活サービス

売上



事業利益



※マネージメントノーマライズドベース ●: 利益率



2016年3月期 マネージメントKPI (報酬連動ベース)

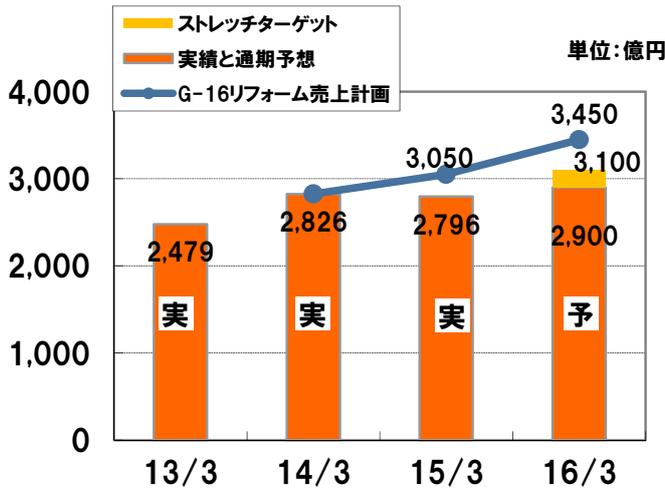
							HQ及び 連結調整 *
	LWT ※	LHT	LBT	LKT	D&R	H&S	
管 理 通 貨	M\$	億円	M€	億円	億円	億円	億円
売 上 高	5,040	6,080	2,680	1,180	2,070	620	-
前年比 (%)	+6%	+0%	+5%	+4%	+4%	+4%	-
ノーマライズドEBIT	473	408	100	25	103	43	-414
前年比 (%)	+8%	+15%	+30%	-	+23%	+2%	-

※Joyou AGを除いた暫定値

*今後発表する2016年3月期業績予想では、この他にPPA、為替リスク等で約150億円のインパクトが見込まれます。



主要戦略 進捗状況



国内の主なトレンド

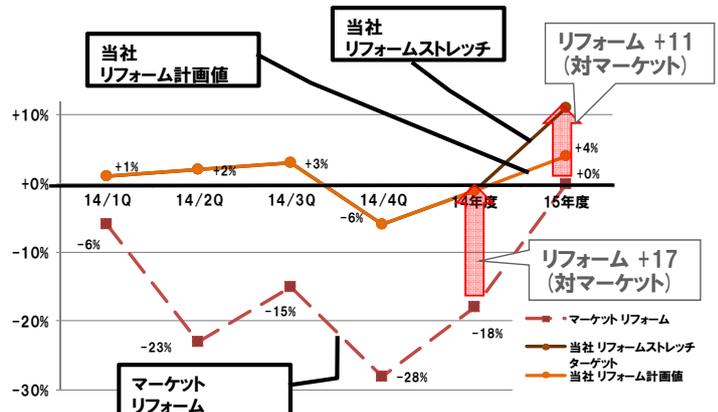
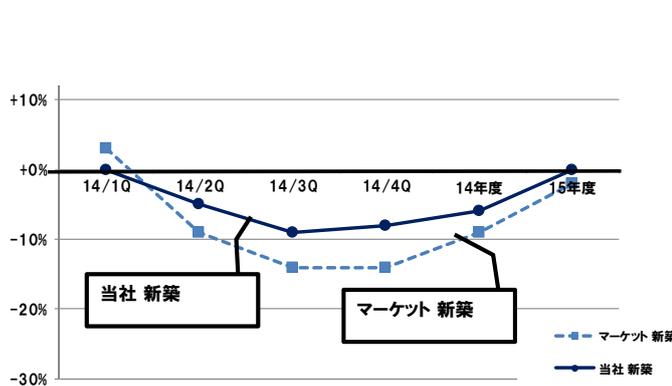
- 高齢化
- 省エネ
- 耐震

G-16:2014年5月開示 中期経営計画

国内売上を保守的に想定した利益改善を図る

前年比伸び率

		14年度実績	15年度予想
マーケット	新築	-9%	-2%
	リフォーム	-18%	+0%
当社	新築	-6%	+0%
	リフォーム (ストレッチターゲット)	-1%	+11%
	リフォーム (計画値)	-1%	+4%



期初予想(初年度130億円)を達成してスタート

項目	主な施策	16年度改善目標*2	14年度財務諸表反映実績
SCM	<ul style="list-style-type: none"> 営業・工事情報一元化 生産・物流拠点最適化 ロジスティック改善 戦略購買 CCC改善に伴う効果 	550億円	116億円
粗利の改善	<ul style="list-style-type: none"> プロセスを可視化する事によるロスコストの削減 商品ポートフォリオの最適化 	350億円	85億円
間接費など	<ul style="list-style-type: none"> 営業サポートプロセス改善 商品開発効率化 販管費削減 	200億円	22億円
内部目標額		1,100億円	223億円
歩留考慮 (コンティンジェンシー)		-330億円	-50億円
国内コア事業		770億円	173億円

*1 BT-16: Business Transformation
*2 3ヵ年累計目標

...事業効率化の実施及び予定

年間コスト削減額: 23億円

	実施時期	内容	対応/目的	部門
実施	2014年4月	サンウエーブキッチンテクノ(株)を売却	事業の選択と集中	LWT
	2014年8月	中国 驪住建材(蘇州)の衛生陶器製造ラインを閉鎖	中国American Standard・ベトナム工場へ移管	LWT
	2014年12月	GROHE カナダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	LWT
	2015年4月	(株)LIXILとサンウエーブ工業(株)他2社を合併	グループ会社のスリム化	本社
予定	2015年6月	ASB ネバダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	LWT
	2015年12月	立野工場(富山県、金属製建材製造)の操業停止	小矢部工場(富山県)に集約	LHT
	2016年3月	青山工場(三重県、電子部品製造)の操業停止	知多工場(愛知県)に集約	LWT

トピックス

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

LIXILグループ総力結集



水まわりのリーディングカンパニーであるGROHEが2015年3月にドイツで開催された衛生設備と空調の最先端を紹介する見本市 ISH に出展

ISH

- 2015年3月10日～14日 ドイツのフランクフルトで開催
- ISHとは、バスルーム・建築・エネルギー・冷暖房・再生エネルギー専門の国際的見本市
- 2,300㎡と広大なGROHE展示ブースを通じて、新商品だけでなく、バスルーム、キッチン、スバのサービスに向けた幅広い商品も紹介
- LIXILとのグループ共同出展は初めて
- 新しいバスルームを提案
- 国際的な記者会見がDavid J. HainesとMichael Rauterkusによって開催され、60人以上の報道陣が出席



「ダイバーシティ経営企業100選」「なでしこ銘柄」に選定 **LIXIL**

LIXILグループが、ダイバーシティ推進企業として
「ダイバーシティ経営企業100選」「なでしこ銘柄」に選定されました



「ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業大臣表彰)は、経済産業省「ダイバーシティ経営によって企業価値向上をした企業」として、累積で約100社を表彰するもの



「なでしこ銘柄」は、経済産業省が東京証券取引所と共同で、東証一部上場企業の中から特に女性活躍推進に優れた企業を選定・発表する事業。2014年に引き続き、2年連続での選定

グローバル行動指針を制定



One LIXILとして全世界の社員が共有する「LIXILグループ行動指針」を策定

LIXILグループ全社員(正社員、パート・アルバイト、契約社員、嘱託社員など)・役員が守るべき行動指針として、全世界共通の「LIXILグループ行動指針」を2015年4月に策定し、周知・浸透に取り組んでいます。

まず日本語と英語の2か国語で発行、5月中に13言語がそろいます。



ご参考
(Appendix)

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

A-1. フリーキャッシュフローは昨年比1,450億円増



単位：億円

	14/3期 実績	15/3期 実績	増減額
営業キャッシュフロー	835	1,392	556
(うち減価償却費)	492	507	16
投資キャッシュフロー	-2,183	-1,292	891
(うち有形・無形資産取得支出)	-653	-626	27
フリーキャッシュフロー	-1,348	99	1,447
財務キャッシュフロー	1,531	100	-1,431

うち運転資本改善
+946

Copyright © LIXIL Group Corporation, All rights reserved.

A-2. 連結財政状態 (ご参考)

単位: 億円

	14/3月末	15/3月末	増減額
現預金	1,630	2,573	943
売掛債権	4,872	4,439	-434
棚卸資産	2,109	2,276	168
有形・無形固定資産	6,296	6,495	199
その他			
総資産			
買掛債務	2,358	2,330	-28
有利子負債	6,265	6,760	495
その他	3,222	3,436	213
負債合計	11,845	12,525	680
自己株式	-418	-562	-144
その他			
純資産			

■ 現預金増は有利子負債返済予定

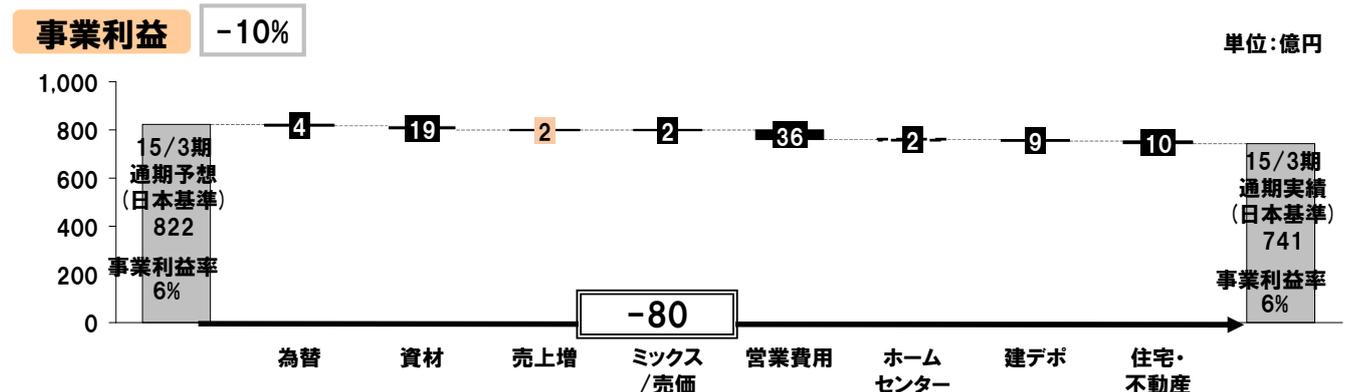
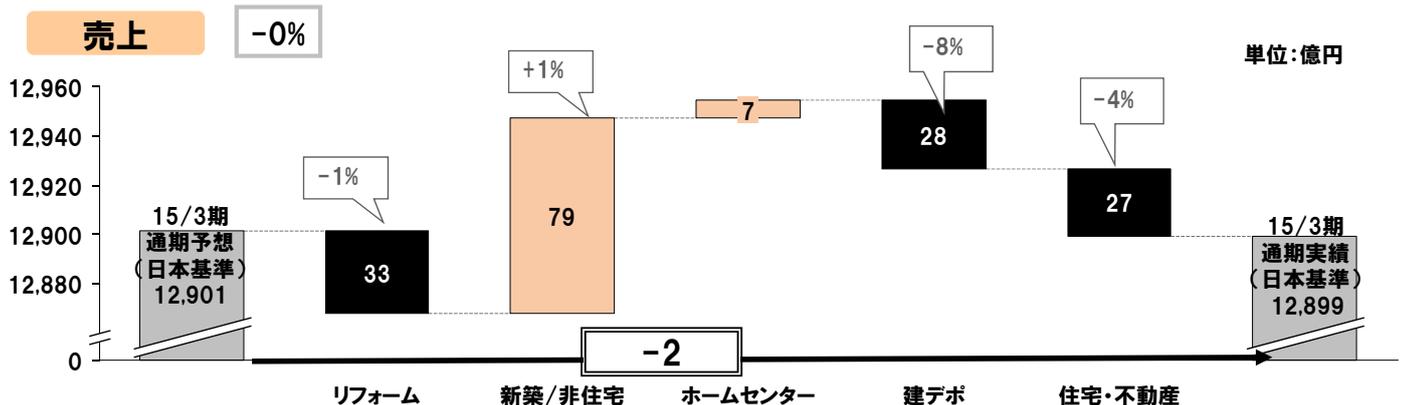
■ 運転資本改善進む

■ CB1,200億発行を含め、Net有利子負債は4,187億円 (-448億円)

■ 自己株式購入200億円実施

期末株式数 (千株)	290,733	286,352	-4,381
------------	---------	---------	--------

A-3. 2015年3月期 国内 売上・事業利益の増減(予想差)

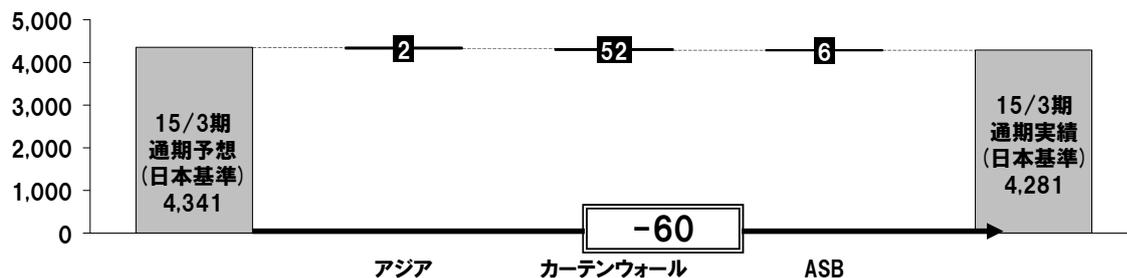


A-4. 2015年3月期 海外 売上・事業利益の増減 (予想差) **LIXIL**

売上

-1%

単位: 億円



事業利益 (連結無形資産償却除く)

単位: 億円

